

かいご 介護だより

1月号NO.252号

発行日 2021年1月1日

発行所 (有)介護福太郎
発行責任者 代表取締役 内海好一
会津若松市中央二丁目1-21
TEL 0242-37-2166 FAX 0242-85-7021
Eメール fukutaro@basil.ocn.ne.jp



- ・本社
 - ・本社営業
 - ・福太郎居宅介護支援事業所
 - ・悠悠いきいき倶楽部あいづ
 - ・IT事業部
 - ・NPO法人ネットサポート

- ・喜多方営業所
- ・悠悠いきいき倶楽部喜多方



新年あけましておめでとうございませう。旧年は沢山のご支援、ご指導を賜り厚くお礼申し上げます。昨年令和二年は新年早々から、新型コロナウイルス感染が世界中に広がり、今まで経験したことのない試練を受け、いまだに終息、否終息の方向にも向かっていない状況です。

私達はそんな中、「新しい生活様式」の徹底や「働き方改革」などによる仕事の仕方や業務形態に苦勞しながらもこうして全員元気に新年を迎えられました事は職員並びに関係者の方々のお陰と心より感謝致しております。

そしてまだまだ完全に終息が見えず、日本のみならず世界を取り巻く経済環境が、更に悪化する懸念なのか、二〇二一年度介護保険改正がこのコロナ禍の中どの様に進められて行くのか、私達は情報を確認しながら、介護福太郎に係わるすべての人が幸せになれるよう、地域社会に貢献して行けるよう努力して行かなければならないと思っております。

一昨年に立ち上げたIT事業もコロナ禍の為なかなか進まない状況ですが、IT事業を進める為に労働者派遣事業許可を昨年十二月に取得致しました。この労働者派遣事業許可を更に活用する為に色々考えて行きたいと思っております。

謹賀新年

ます。

ただ、平成三〇年に立ち上げたタクシー事業と自費の運動教室をコロナ禍や諸事情の為、昨年運動教室は四月、タクシーは五月で中止させて頂きました。ご愛顧を頂いたお客様やご支援を頂いた方には心よりお詫びとお礼を申し上げます。

今年も昨年四月より、今まで非常勤役員として介護福太郎を支えてくれておりました、大場雅孝が常務として参加してくれております。コロナ禍の為皆様にご挨拶出来ておりませんが、折々にご紹介させて頂きます。又、コロナ禍の為昨年出来なかったセミナーをはじめ沢山の事が今年には出来る様になる事を願い、私達は介護福太郎の基本方針であるお客様第一主義を徹底し、お客様のご要望に応えられるよう、自分自身のスキルアップに努めて参ります。

本年もご支援ご指導、宜しくお願い申し上げます。

最後に毎月発行させて頂いております介護だよりを沢山の方が作品を投稿して頂き、ご協力の程心より感謝申し上げます。今年も沢山の素敵な作品を楽しみにしております。

本年も宜しくお願い致します。

(有)介護福太郎
代表取締役 松嶋 加代子

祝 長寿万歳



「長寿万歳」
九十九歳
藤田 ミツエ様

大正十年八月、会津美里町(新鶴)に生まれました。四人兄弟で女性は私一人、兄と弟がおります。小さい頃はよく、田んぼや畑を手伝っておりまして。昭和十九年二十三歳の時に「兵隊から帰って来てくれる人がいる」とお見合いをし結婚致しました。結婚当初は祖母、両親、夫の妹、疎開をして来た四人と大勢の中で、夫の仕事を手伝いながら生活をしておりまして。夫は塗師でした。その様な状況でしたので、映画を見に行く事も出来ませんでした。それでも少しずつ積立をし、近所の仲間と月一回温泉旅行に行くのが楽しみでした。芦ノ牧温泉、沼尻温泉など時には三泊四日と云う事もありました。夫は庭木が好きで色々な花の手入れをしておりましてが、六十七歳と云う若さで亡くなり、その後は私が庭

の手入れを近年までしておりました。私のこだわりがあり他の者には任せることが出来ませんでした。今は息子が全て手入れをしてくれております。ここ十年で三回入院して大変でした。現在は週一回通所リハビリを利用し、福太郎さんから手すりを借りて家で生活しています。「リハビリで良くなる年でもない・・・」と思っても自宅では話す機会も少なくなりました。通所リハビリに行くのと職員の方々がニコニコしながら話しかけてくれ、トランプやゲーム等に参加し、大きな声で笑いながら過ごして来ます。百歳を迎えますが、あつという間に百歳と云うのが実感です。曾孫も六人居りますが新型コロナウイルス感染症で、会う事が出来ず寂しい限りです。百歳を迎えても今まで通り「自分で出来る事は自分で行う」をモットーに過ごして行きたいと思っております。

「起上小法師に 懸開運と魔除」



人生往路順風満帆だろうが喜怒哀楽に艱難辛苦で物騒な世相だ事件(故)災難が多発し、そこで希望に満ち溢れた新春を迎え新春恒例の風物詩が各市町村や居住毎に初市が開催される。テント張り出店で頒布される会津郷土玩具縁起物の「起上小法師」を数個手に取り振り出せば小法師自身前後左右に身を振り起さる。

人生行路、悪戦苦闘、諦めず屈せず「悔悟憤発、堅忍不拔、叱咤激励」している。さて振出した小法師皆起きるか?。数有る中には「起きない小法師」が、その小法師にも視線を!とは前叙述は開運だが、以後は物騒な世相で事件(故)や災害が多発しているから見舞わない遭遇しない様に起因しない様にも「万が一の際身代り、魔除(御守)の意味合いで買求めるのも一つの方策(策略)だ。災難起きない様に!遭わない様に!」

猪苗代町 田澤 一男

介護に関する 「お困りごと・ご相談事は」

- ・ 若松営業所 0242-25-0620
 - ・ 喜多方営業所 0241-23-5170
- までご連絡ください



「滝沢村本陣 (戊辰戦争)」

前月号の続き

そのころ、上田新八郎が率いる砲兵三番隊、第二奇勝隊、辰野勇が率いる敢死隊が十六橋守備のために戸の口原を目指して出動していた。白虎隊は中隊頭の日向内記、小隊長の山内蔵人、水野勇之進、半隊頭の前田克吉、佐藤駒之進の将校五人が軍事方に会って出陣の挨拶をのべた。軍事方は彼らを激励して白虎隊の健闘を祈った。日向隊長は三の丸に集合した二番中隊三十七名を連れて藩主の容保公の出馬を待っていた。

を迎えたが付き添いの佐川官兵衛を含めて御刀番小姓役、用人などわずか十数名だった。号令一下、馬上の日向隊長を先頭にして二番中隊の一番小隊が前衛となり、容保らをはさんで二番小隊が後衛にしてラッパを合図に北出丸追手門を出発した。隊長春日和泉の一番中隊も従軍を志願したが軍事奉行は許されなかった。容保の行列は右側に千七百石西郷頼母、千石の杉田兵庫、九百五十石の一瀬加壽馬、五百石丸山房之進、左側に二千二百石内藤助右衛門、五百五十石野伊藤又四郎、千石の沼沢小八郎、千三百五十石の一瀬要人と侍屋敷の立ち並ぶ甲賀町の大通を進み、郭門を出て屋敷でしばらく休んで上ノ町から博労町通りにさしかかった。

次月号へ続く

佐藤 一男

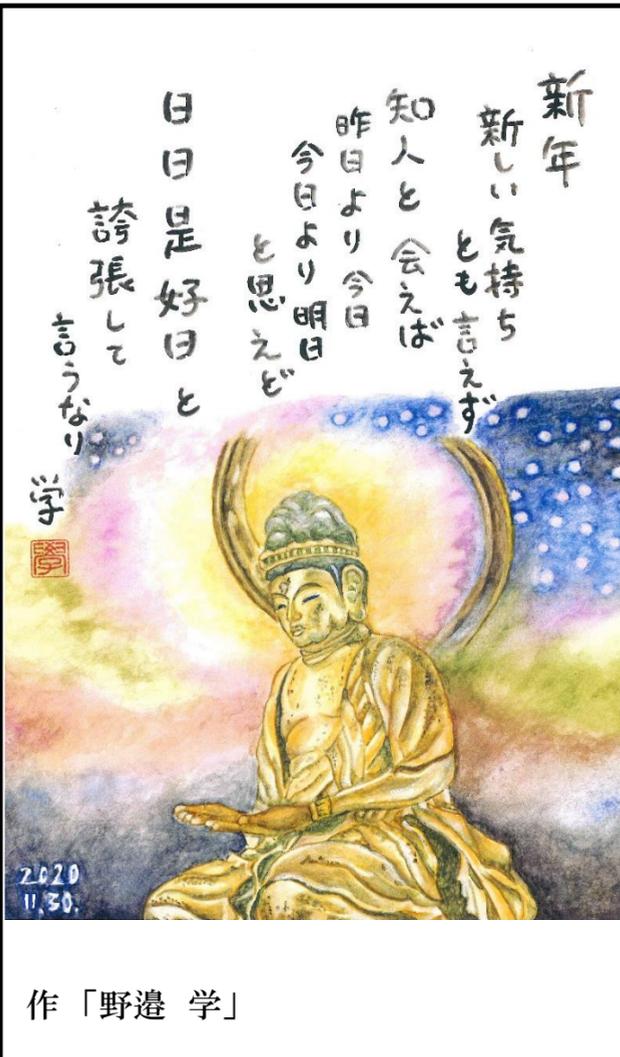
「感謝」

私の父本名眞は、現在満百歳。介護福太郎の皆様の世話になり、自宅にベッド・手すり・電動イス・段差解消ふみ台などを取りつけていただき、何とか生活していただきました。一年ほど前から特別養護老人ホーム昭和ホームに入所し、多くの皆様に支えられて暮らしております。

奥会津の山の中で、ともかくにも一世紀を生き抜いてきた父。百年の間の何をふりかえり、どなたの顔を思い浮かべながら過ごしているのでしょうか。戦争のときも平和のときも、喜びのときも悲しみのときも、どれほど多くの方々に支えられてきたことでしょうか。夢うつつの中で、百寿の心の中で、誰かに次のような報告をしているのかもしれない。先の大戦では中国大陸に出征しました。復員してみたら、おどつつあ(父平次)は死んでいました。戦後の混乱期には大病を患い、生死の境をさまよいました。奇跡的に回復しましたが、長男眞一、次男

昭和村 本名 幸平

幹雄を病気で亡くしました。水欲リテ手ヲ伸ベシママ息絶ヘシ吾子ノ石碑ニ注グ真清水。落雷のため、家が全焼しました。米・葉タバコ・蕎麦・野菜を作り、牛・豚・綿羊・鶏を飼い、冬は出稼ぎをしながら、妻とともに生きてきたのです。未熟米アマタ混ジレル米ナルモ選別機ヨリ輝キテ出ツ。ブラジルから届いた姉のチエ子の真つ白な遺髪は、本名家の墓に納めました。昭和九年にブラジルに渡ったまま一度も日本に帰れず一生を終えた姉。やさしかった姉の魂は、おどつつあ(父平次)とおがあ(母ミドリ)に抱かれて眠っております。真白ナル姉ノ遺髪ニ指ヲ触ル今帰ルナリ遠キハラカラ。介護福太郎の皆様をはじめ、全ての皆様に感謝しつつ、父の百年を記してみました。



作「野邊 学」

俳句 北山百合俳句会

初詣またひとつ夢膨らみ 中川 幸恵
遠くより我家を見たる初景色 鈴木 隆一郎
にぎやかに餅ついている家族かな 武藤 敏子
初暦めくるは家長の日課なり 佐藤 信子

俳句

初暦友と逢う日をゆび折りぬ Y 子
コロナ禍の収束祈りて松飾る ミエ 子

短歌

野路菊の紺より日暮始まりぬ 松 みどり
草の実を首に背中につけて来し 家猫ミルクが昼飼をねだる 坂内 久美子
輝かず今年の薔薇は終りたり 霜月の朝肥料の水根元に廻す 五ノ井 星子
俄雨止みたる空の藍深し 取り残さるる如き織月 鈴木 キミ子

川柳

終息を只管すら祈る初詣 駅伝で過ごす正月三ケ日

丑年を牛歩で歩む老いの道 九十二歳時代遅れの展望車 ニュートンの摂理尻餅どっこいしょ 裸木になつて春えの充電期 川島 英雄



作「高田 壽治」



作「渡邊 鶴子」

お詫びと訂正

先月の「俳句・あいづ方部サザンクロス」で掲載致しました中で、投稿者様のお名前に間違いがございました。心よりお詫び申し上げます。訂正させていただきます。まだコロナふと見上げれば冬の虹・コロナ禍に威風堂々紅葉る城の二句は「和代様」になります。

私たち社員一同で 真心を込めたサービスと 感動を提供します。

福祉用具レンタル・販売・メンテナンス プライムケアイースト株式会社 http://www.pc-east.com

灯油のご用命は当社にまかせください!

ENEOS(株)特約店

株式会社 栗林商店 代表取締役社長 栗林 陽志

〒965-0042 会津若松市大町二丁目5-8 TEL 0242-22-3930 FAX 0242-22-2335

車のことなら何でもおまかせください

有限会社 大島ボテイ

〒965-0080 福島県会津若松市神指町橋本59番地 TEL0242-24-7585 FAX0242-32-0775

厚生省生衛第134号

全国介護環境整備協同組合

株式会社 アンミン

〒992-1125 山形県米沢市万世町片子5152 TEL0238-21-4340 FAX0238-24-0166